

第 1 回 「雇用関係によらない働き方」 に関する研究会

出席者 プロフィール

委員 プロフィール



株式会社パソナテック 取締役

粟生 万琴 (あおう まこと)

1974年生まれ。システムエンジニアを経て、2003年にパソナテック入社。2010年に社内ベンチャー「ソーシャル・ソリューション・カンパニー」を立ち上げ、地域活性化に向けたITの講習会などを開催。2012年に執行役員に就任。2016年6月より取締役。

【取組】

株式会社パソナテックの女性取締役。パソナグループの企業理念「社会の問題点を解決する」の下、エンジニアの派遣や転職支援、アウトソーシングを行っており、テクノロジーの可能性を最大限に引き出すことのできる人材の育成や活躍の機会を創造。



KAIZEN PLATFORM CEO

須藤 憲司 (すどう けんじ)

1980年生まれ。2003年に早稲田大学を卒業後、株式会社リクルート入社。同社のアドオプティマイゼーション推進室を立ち上げ。株式会社リクルートマーケティングパートナーズ執行役員の後、2013年にKAIZEN platform Inc.を米国で創業。

【取組】

KAIZEN Platform Inc.のCEO。同社はWEBサービスのUI改善を簡単に実現出来るプラットフォーム「Kaizen Platform」の提供をしている企業。現在クライアントアカウント3,000以上、グロースハッカー4,600名以上、全世界40カ国に利用者が存在。



ランサーズ 株式会社

取締役

曾根 秀晶（そね ひであき）

1981年生まれ。東京大学建築学科を卒業後、パリ・ラヴィレット建築大学等を経て、2007年に東京大学大学院工学系研究家建築学専攻を卒業。マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社後に、2010年に楽天株式会社に入社。2015年2月にランサーズに入社。

【取組】

ランサーズに参画し、現在、取締役として経営戦略・企画、広報・IR、およびコーポレート部門を管掌。「時間と場所にとらわれない新しい働き方を作る」というビジョンの実現に向けて奮闘。



慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授

高橋 俊介 (たかはし しゅんすけ)

1978年東京大学工学部航空学科を卒業後、日本国有鉄道に入社。マッキンゼーアンドカンパニーに入社後、ワトソンワイアット株式会社代表取締役社長を経て、2000年5月慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授に就任。2011年11月より現職。

【取組】

経営視点での組織人材マネジメントに関する企業支援、慶應SFCキャリアリソースラボラトリーを拠点とした個人主導のキャリア開発や組織における人材育成についての研究および企業支援に長年従事。最近では自治体や国の社会視点での人材活用施策の支援にも多く関わる



株式会社クラウドワークス 執行役員 経営企画担当 田中 優子（たなか ゆうこ）

東京大学法学部卒業。トヨタ自動車で新型車の市場導入、需給計画・販売戦略策定に従事。その後、ジュピターショップチャンネルで経営企画、事業開発などを経験し、戦略コンサルティングファームA.T.カーニーで、多岐に渡るコンサルティングプロジェクトを経験。2011年7月より消費財・小売プラクティスのマネージャーを務める。

2014年4月、株式会社クラウドワークスに参画、執行役員に就任。

【取組】

4回目の転職を経て、外資系コンサルティング会社のA.T.カーニーからクラウドワークスに入社。クラウドワークスで唯一の女性役員。組織の枠に囚われない柔軟な働き方としてクラウドソーシングという働き方を各メディアにて周知し、今は経営企画担当の執行役員として中長期戦略や、IRや広報といった外部とのコミュニケーションに携わっている。



株式会社Waris 代表取締役共同創業者 田中 美和（たなか みわ）

慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、2001年に日経ホーム出版社(現日経B P社)入社。2009年に米国CCE,Inc.認定GCDF-Japan キャリアカウンセラーの資格を取得し、女性が自分らしく前向きに働き続けるためのサポートを行うべく2012年に退職。フリーランスのライター・キャリアカウンセラーとしての活動を経て2013年株式会社Waris設立。

【取組】

株式会社Warisでは、企業とハイスキル層の“プロ人材”をつなぎ、マーケティング・PR・人事・組織開発等の領域で“プロジェクト型ワーク”の創出・マッチング サービスを行う。一人一人が思い描くキャリアビジョンに沿って誰もが自分の能力を生かしてイキイキと働き続けられる社会の実現を目指し活動中。



ジャーナリスト／株式会社チェンジウェーブ 中野 円佳（なかの まどか）

1984年生まれ。東京大学教育学部を卒業後、日本経済新聞社に入社。大手企業の財務や経営、厚生労働政策などの取材を担当。同社で産休・育休を取得し、2015年4月より企業変革パートナーの株式会社チェンジウェーブに参画。著書に『「育休世代」のジレンマ』（2014年、光文社）。東京大学大学院教育学研究科博士課程。

【取組】

東洋経済オンライン、日経DUAL、Yahoo!ニュース個人、プレジデントウーマン等で働き方、女性活躍、ダイバーシティなどのコラム執筆。NHKEテレ「ニッポンのジレンマ」、BSフジ「プライムニュース」、テレビ朝日「朝まで生テレビ」など出演。規制改革会議、RIETI、財務総研などの政府系会議に出席。厚生労働省の「働き方の未来2035」第1回研究会の委員を務める。



**リクルートワークス研究所
労働政策センター長
中村 天江（なかむら あきえ）**

東京大学大学院数理科学研究科修士課程終了後、1999年リクルート入社。就職・転職などのサービス企画を経て、2009年、リクルートワークス研究所に異動。「人材採用システムの研究」で、2016年一橋大学で博士号（商学）取得。専門は人的資源管理論。

【取組】

「労働市場の高度化」をテーマに、企業の人材獲得、個人の労働移動、需給調整機関のようなLMI（Labor Market Intermediation）など、労働市場に関するメゾレベルの調査・研究に従事。労働市場の長期予測と、それを踏まえた政策提言にも取り組む。



一般社団法人クラウドソーシング協会 事務局長

湯田 健一郎（ゆだ けんいちろう）

株式会社パソナにて営業企画、事業開発、システム推進、Webブランディングの責任者を経て、現在、ICTを活用し、場所を問わず多様な人材の能力を活かす「LINK WORK（リンクワーク）」の推進を統括。IT領域を専門とする株式会社パソナテックにて、クラウドソーシングサービス「Job-Hub（ジョブハブ）」の立ち上げを行い、2014年5月に設立したクラウドソーシング協会の事務局長を務める。

【取組】

組織戦略・BPO・CRMのコンサルティングに携わり、特にICTを活用した事業プロセス最適化の視点から、幅広い業界・企業を支援。中小企業庁実施の「クラウドソーシング活用推進事業」の企画統括や地方自治体が実施する働き方改革事業運営、講演等に多数従事。自身も複数の社籍を持ち、パラレルワークと二地域居住を実践。

雇用関係によらない働き手 プロフィール

大橋 弘宜（おおはし ひろのり）

プログラマーとして会社勤めを経験し、友人と企画の会社を設立。現在は不動産鑑定事務所で新規事業の企画をしながら、フリーランスとして活躍中。複数のWebサービスを使い分け、企画・アイデアの提供を生業としている。

【取組】

個人の仕事と不動産鑑定事務所での仕事の平行キャリアで活躍。会社員でプログラマーとして4年間勤めたあと、独立。クラウドソーシングプラットフォーム「ランサーズ」を活用して、企業への販売促進などの提案に従事し、やれることを積み重ねて試行錯誤しながら、シゴトクリエイター（フリーでアイデアを出す仕事）として活躍。

勅使川原 真衣 (てしがわら まい)

大学院において“高等教育とキャリア形成”を専門に研究し、さまざまな業界を俯瞰したいという思いから、ネットリサーチを手がけるマーケティング会社に入社。その後、外資系コンサルティング会社に転職し事業戦略に関わる仕事に携わる。やりがいを感じつつも、子育ての両立を目指し、フリーランサーとして独立。

【取組】

会社員時代から「性格行動特性」を専門に、さまざまな企業に対して主に人事組織分野でのコンサルティングを実施。人の行動をつかさどる性格行動特性（人の定量面・定性面での「特性」、いわば「持ち味」）をアセスメントツールやインタビューを通じて把握し、組織変革が絵に描いた餅に終わらず、組織の一人ひとりまでが行動変容できるプロセスコンサルテーションを行っている。

平野 実子 (ひらの じつこ)

2014年4月よりベビーマッサージ講師として、福岡市糸島市で活動スタート。述べ1,500組以上の親子と教室を開催。

また、同時にファミリーイベントプランナーとして、子育て応援のイベントを福岡で多数主催。2015年9月より、ママグロースハッカーズ養成講座を受講し、グロースハッカーとして活動中。

【取組】

デジタルハリウッド福岡校・リクルートジョブズ・Kaizen Platformの3社が福岡市の支援のもと協働して実施した、子育てママをグロースハッカーに育成する“Growth Hack for Woman プロジェクト”に参加。現在、家庭と両立しながら子育てママの目線を生かし、企業やサービスの成長を加速させるグロースハッカーとして活躍中。